

2025.11.25

18:00-19:00

第126回 未来医療セミナー

mRNAを用いた未来医療の可能性



位高 啓史

大阪大学 感染症総合教育研究拠点 (CiDER)
臨床生命工学チーム・教授

モデレーター

名井 陽

大阪大学医学部附属病院未来医療開発部未来医療センター
センター長・教授
ACTjapan会長・代表理事

COVID-19ワクチンとして初めて実用化された新規創薬モダリティであるメッセンジャーRNA (mRNA) は、標的を選ばず、どのようなタンパク質でも産生することが可能で、種々の疾患治療への応用が検討されている。特に再生医療領域では、細胞移植を必要としない組織再生への展開が期待される。本講演では、内外のmRNA創薬の事例を紹介し、自験例では特に最近臨床試験第一相が開始された関節疾患治療用mRNA医薬品を中心に、我々のこれまでの取り組みをご紹介します。

オンライン開催（事前登録制）



■参加申込：下記のURLもしくは右の二次元コードからお申込ください
https://zoom.us/webinar/register/WN_PMn4R90iRB2cemlvrrO_cA

■参加費

無料（但し、一般社団法人 ACTjapan 会員でない企業様：お一人様 ￥1,000/回）

※ アカデミア所属の方、学生および ACTjapan 会員企業様は無料でご参加いただけます。

参加費のお支払いは、銀行振り込みとなります。ご登録いただいたアドレスにメールにてご案内申し上げます。

お問い合わせ

大阪大学医学部附属病院未来医療開発部未来医療センター内

ACTjapan事務局

actjapan@dm.med.osaka-u.ac.jp

共催：日本橋渡し研究アライアンス

一般社団法人 ACTjapan

大阪大学橋渡し拠点

